

埼接ミニ情報 24年1月号

発行
(社)埼玉県接骨師会
企画総務部

新年明けましておめでとうございます。

年末から年始にかけ、各支部において行政や政治家の方々をお招きして忘年会・新年会が開催されております。各界の方々のお話の中に、柔道整復師に対する期待の大きさが感じられます。

社会保障費の急増に対する柔道整復術への期待もありますし、東日本大震災後の全国の柔道整復師の活動や、従来より県内各地で地域に密着した形で行われている救護など一般の方々を対象とした公益性の高い活動を目の当たりにして、今後も県民・国民のためになくてはならない職業であるとの認識を新たにしているようです。

このような状況において、今年も埼接は公益法人として、率先して行政や一般の方々の柔道整復術及び柔道整復師に対する正しい認識の醸成に努めるとともに、柔道整復師の施術環境の改善に全力を注ぎたいと思っています。また、保険者や行政との相互理解のための活動が、今以上に必要になってきますし、それらをより効果的に実行するには、柔道整復師が一丸となる認識の共有が必要になります。埼接ミニ情報がその一助になればと考えています。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

【公益社団法人認定申請進捗状況】

昨年末に申請を行い、現在は埼玉県庁文書課にて申請書の検討を行っています。1月12日付で第一回の事前調査等実施通知書が文書課から届きました。具体的には申請書に関する質問ですが、これに対して迅速に公認会計士と検討し1月20日に回答を送付いたしました。今後、何度か文書課とこのようなやり取りが想定され、それが終了するといよいよ認定等委員会に上がることとなります。近隣社団からも朗報が届いております。埼接としましては、医療整備課と調整をとりながら早い時期での認定に全力を注いでいきます。また、移行認定後の準備として諸規定の見直し、作成にも着手しております。

今後におきましても皆様には逐次報告をしておりますのでご協力をお願いいたします。

【予算編成委員会から】

公益社団法人移行を前提とした来年度予算の作成にあたり、様々な改定を余儀なくされております。特に助成金支出については好ましく無いとの指摘を受け、研修費、柔道大会（各支部での本会が主催・共催する公益目的事業としての柔道大会以外）、同好会への助成金等は来年度からは計上できなくなります。また、支部の運営費にあてられる法人会計部門については、支部活性化のため増額する予定でいます。予算案は2月の理事会を経て評議員会の諮問を受け3月24日（土）の予算総会に上程いたします。

【埼接ホームページについて】

埼接が実施する公益目的事業に、県内の全柔道整復師及び養成校の学生、また、事業内容によっては、一般の方々も参加できるようにホームページ上で各事業の開催案内を公開しています。その効果か、最近問い合わせが増えてきています。本会ホームページが果たす役割は今後ますます増大すると思いますので、IT委員会が中心となって今後も様々な情報を発信していきますので、是非ご覧になってください。

【保険部から】

健保組合等からの返戻、不支給の事例

被保険者に施術内容の照会を実施され、整合性等が欠如していることから返戻・不支給等されている場合。

- ① 急性、亜急性の外傷性ではなく、電気、マッサージのみを受けたとの回答があり返戻（又不支給）。
- ② 患者からの施術内容の回答が「鍼治療」のため支給対象とはならない。
- ③ 負傷名と治療部位の整合性がない。
- ④ 同一月に同一負傷名で保険医療機関を受診している。（対診の場合は同意を受けた病院、医師名を記入すること）

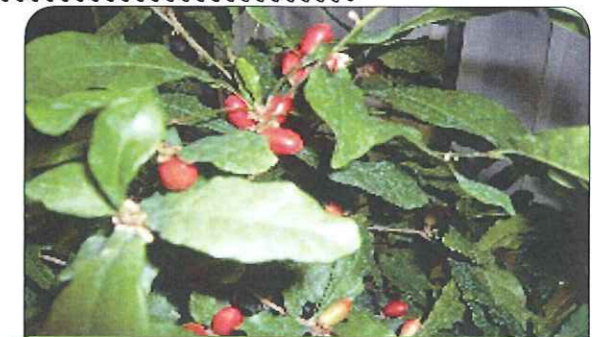
※対応策として初検時には必ず問診票を作成し患者に確認していただき、施術録を保管すること。

【今後の主な予定】

- 平成24年 2月 5日（日）新規開業者対象保険業務講習会
- 平成24年 3月 11日（日）関東学会茨城大会
- 平成24年 3月 24日（土）第66回定時総会
- 平成24年 5月 13日（日）第67回定時総会
- 平成24年 5月 27日（日）埼接柔道大会

お悔み申し上げます。

- ◆ 川越支部 門井伸夫会員が10月11日にご逝去されました。
- ◆ 秩父支部 新井章介会員が11月28日にご逝去されました。
- ◆ 川越支部 盛田儀広会員が12月23日にご逝去されました。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。



ミラクルフルーツは、西アフリカ原産のアカテツ科の果物。果実自体は甘くないが、次に食べた物を甘く感じさせる特徴を持つ。